

世界かんがい施設遺産

ときわこ

# 常盤湖

〔山口県・宇部市〕

■当時の領主福原広俊が、農地の開作政策を進め、1695年に常盤湖築堤に着手し、1698年に広さ80haの湖を完成。

■築造当時、米の生産量は40万kgから125万kgとなり、年間5000人以上の食料の増産。

■風光明媚な常盤湖周辺を市民に一般開放するため、1925年に「ときわ公園」が開設。

■現在は、常盤湖畔は緑と花であふれ、「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」の会場や彫刻の展示場として利用され、多様な利用形態を有する都市公園として多くの市民に愛されている。

## Tokiwako Reservoir



荒野を人口の4倍の食料生産地へと変貌させた、ため池



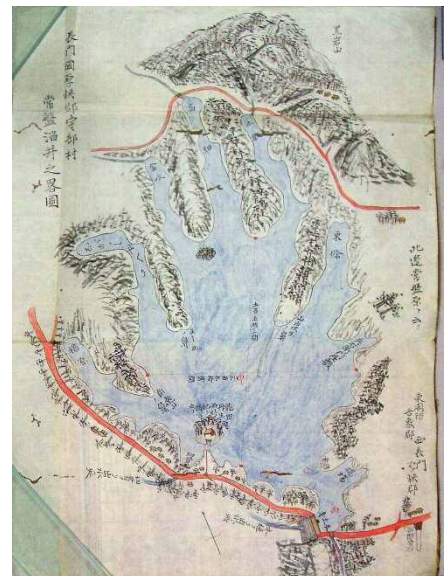
常盤湖全景



斜樋



洪水吐



常盤溜井之略図  
1885年  
(明治18年)